

音楽は心で聴けば解るモノ？

音楽を理解すること。それを踏まえて、音楽家として発信していくこと。みんなで考えてみませんか？

7月9日(水)

18:30-20:00

C511階段教室

※昭和音楽大学より、
東京音楽大学と神戸女学院大学へ発信

撮影：長谷義隆



ミュージック・コミュニケーション講座とは？

本講座は、将来、演奏家に限らず、どんな進路に進んでも、音楽大学で培ったものを活かしていけるための能力が身に付き、実践的な講座です。各界で活躍する講師を招き、社会で活躍するために必要なコミュニケーション力、社会性、リーダーシップ、そして柔軟な発想力などを磨きます。

授業はインターネット・ビデオ会議システムにより3大学をリアルタイムで結び、各大学の学生が同時に同じ授業を受講します。単に授業を受けるのではなく、特別講師の先生方や他大学の学生との質疑応答やディスカッション、時には身体を動かすワークショップなどを行い、「コミュニケーション」について実践的に学んでいきます。

講師:茂木大輔 (NHK交響楽団首席オーボエ奏者、指揮者)
 ミュンヘン国立音楽大学大学院修了(オーボエ専攻)。86年からシュトゥットガルト・フィルハーモニー管弦楽団の第1オーボエ奏者を経て、1990年からNHK交響楽団首席オーボエ奏者。多数のCDをリリースして注目を集める。ジャズとのコラボレーション、自作自演など、活動は極めて多岐に渡っている。
 1996年から指揮活動に入り、バッハの教会音楽、ベートーヴェンのシンフォニーなどの解説コンサートで全国的に活躍。東京フィル、名古屋フィル、兵庫PAC、広響、九響など多数の団体を指揮している。東京音大にて指揮を広上淳一氏ほかに師事。
 ニノ宮知子「のだめカンタービレ」原作に取材協力、ドラマなどでは「クラシック監修」を担当した。
 執筆でも知られ、「オーケストラ楽器別人間学」(新潮文庫)など多数の著書がある。最新刊は「アイネクライネなわが回想」(幻戯書房)

インターネット・ビデオ
 会議システムを使用して
 3大学間を同時中継！
 履修者以外の学生も
 聴講できます！

